

横浜市水道局老朽管改良（耐震化）計画策定委員会の設置について

1 目 的

本市では、現在、主に昭和 39 年以前に布設された水道管を対象とし、老朽管改良事業を進めており、耐震継手を有する管への更新を行っております。

現行の老朽管改良事業は、平成 22 年度で完了する予定で、平成 23 年度以降の次期改良計画については、昭和 40 年代に布設された水道管が対象になりますが、人口急増に伴う水道施設の拡張期に、年間 200km を超える水道管の布設を行っており、経年劣化等が原因する漏水が徐々に発生してきています。

耐震性を備えた老朽管改良は本市においても喫緊な課題であり、効率的かつ効果的な長期計画を策定するため、外部の有識者を含めた横浜市水道局老朽管改良（耐震化）計画策定委員会を設置しました。

2 検討内容

- ・ 現状分析
- ・ 改良優先順位等の策定
- ・ 老朽管改良（耐震化）事業の見通し
- ・ 老朽管改良（耐震化）計画案策定

3 委 員（6名）

役 職	氏 名	所 属 名
会 長	小 泉 明	首都大学東京大学院（教授）・工学博士
委 員	長 岡 裕	武蔵工業大学（教授）・工学博士
”	田 口 靖	（社）日本水道協会工務部長
”	間 山 一典	（社）全国上下水道コンサルタント協会
”	久保田照文	水道局 水道技術管理者、給水部長
”	原 田 陽一	水道局 経営企画部長

4 委員会開催日程

第 1 回（平成 19 年 9 月 3 日開催）

【議題】（1）今後の水需要の動向等について、（2）中期経営計画及び長期ビジョン・10 ヶ年プランにおける老朽管改良計画について、（3）今後のスケジュールについて

第 2 回（平成 19 年 10 月中旬予定）

【議題】布設状況等現状分析、優先順位の検討・策定、老朽管改良（耐震化）事業の見通し等

以降審議状況により会議を設定